

小規模多機能ホームさかえまち 運営推進会議

- 1 日時 : 令和元年 5月25日(土) 14:00~15:00
- 2 参加者: ご利用者様 4名 ご家族様 3名
 包括支援センターせせらぎ 2名
 民生委員 1名
 他 1名
 職員 5名

3 4月の稼働状況

登録人数: 21名

利用状況: 通い平均 11名/18名

 宿泊平均 3.1人/1日

 訪問平均 11.8回/1日 355回/月

4月~5月 利用終了になられた方が3名います。

4 活動報告

- ・第1金曜日 地域の方を招いた音楽療法士による歌の会を開催
 地域の方の参加人数 7人/4月 11人/5月
- ・新緑の良い季節、天気の良い日は散歩をしています。
 散歩は皆さん好まれます。心身ともにリフレッシュされ筋力UPにもなります。

5 看取りについて

4月に《さかえまち》にて看取りされた方のご家族から、看取り介護中に感じた事や今の思い等を語っていただきました。

『昨年の秋より食事・水分共に摂りづらくなり、看取りに向けた介護となりました。スタッフが家族以上の対応をしてくれたおかげで冷静に過程を見守ることが出来ました。食事が摂れない状況でもスタッフから‘本当は食べたいんじゃないかな?’との意見がありました。どのようにしたら食べられるかな?何だったら食べられるのかな?家族とスタッフが協同で考えました。母は「何かあったら何もしないで。一人にしないで。寂しくしないで」と言っていたので、自然な流れで看取り対応中の様々な判断が出来ました。スタッフが母を大切に思い対応してくれたおかげで、無理と思っていたお正月を迎え、誕生日(3月)を迎えられてから旅立つ事が出来ました。常に家族とスタッフと一緒にとりくんだ看取りであったので、全く後悔なく悲しくありません。看取りってこんな事までやってもらえるのか・・・と感心しました。母の意思を守る事が出来たと思いき安堵しています』

最期どこで・・・どのように迎えたいか・・・

ご出席の方々にそれぞれの思いを語っていただきました。ご両親を看取った体験をお持ちの方々もいらっしゃる、看取りに関して強い思いをそれぞれが抱いていました。

(ご利用者)「妻と癌になったら治療はしないと話し合っている」

(ご家族) 「父親は胃瘻を造設し自宅で息を引き取った。母親とは最期について話していない」

「さかえまちも良いが、泊りが多くなると経済的な面が重荷になる」

(包括せせらぎ)

「ターミナルの相談を受ける事もある。自宅看取りの場合、環境を整える事が大切。家族同士の看取りに対する想いをすり合わせする事が大切であり難しくもある」

「ホスピスの存在があるが、緩和ケア病棟も活用されている」

「家族一人で抱え込んでいた事例がある。相談相手の存在が大切」

病院だから出来る事、施設だから出来る事、小規模多機能ホームだからご家族と一緒に出来る事があります。最期をどこで迎えるかを考えた時、小規模多機能ホームさかえまちも選択肢に入れて下さい。

6 地域包括センターせせらぎより

日野市は詐欺被害の報告が多く尚且つ高額です。ご注意ください。

4月に豊田に特別養護老人ホーム花子が開設しました。

7 6月活動予定

1日(土) 東光寺小学校運動会に観戦

7日(金) 地域の方を招いて音楽会 10時半～11時半 無料

21日(金) マザアス日野《ひだまり音楽祭》に参加予定

25日(火) お茶会予定

日程未定 東光寺小学校 4 学年来苑にて交流会

次回開催は 7月 27日 (土) 14時～15時